

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

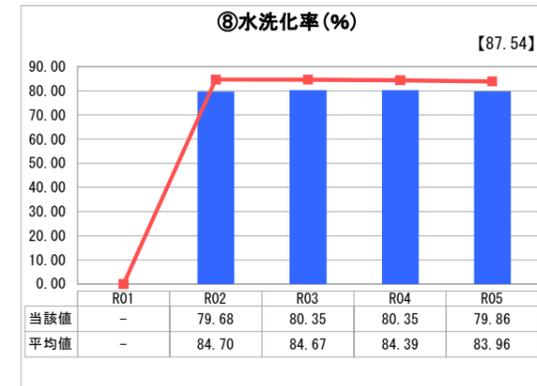
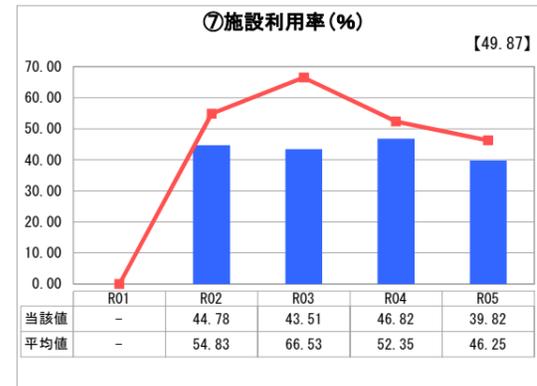
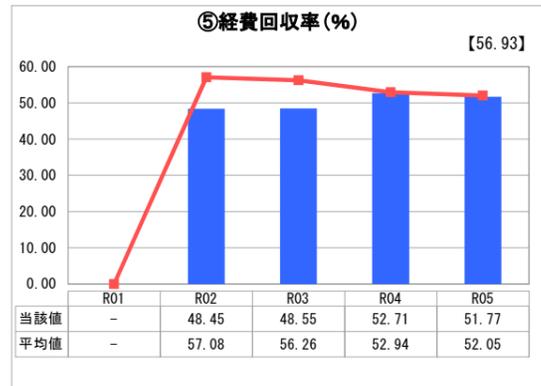
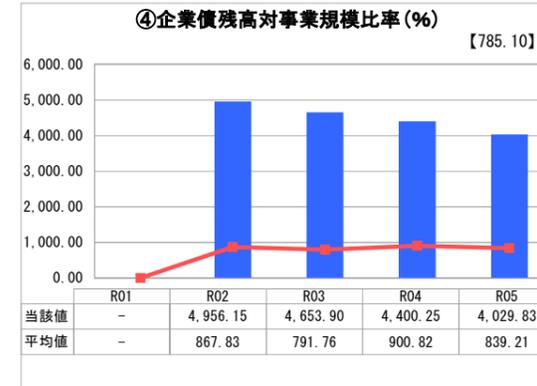
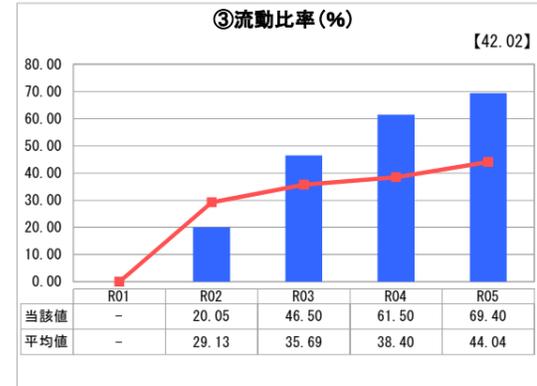
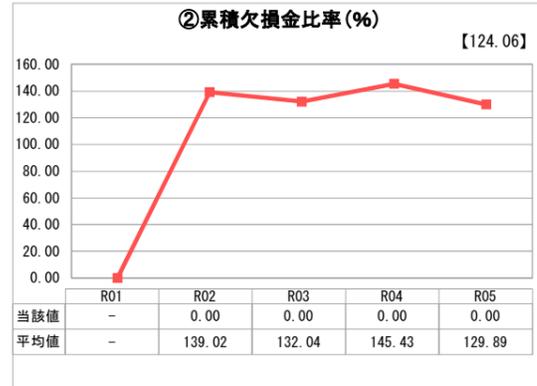
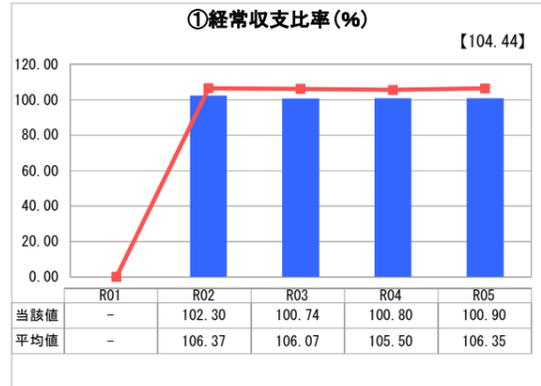
大分県 日田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	32.26	2.17	88.66	3,130

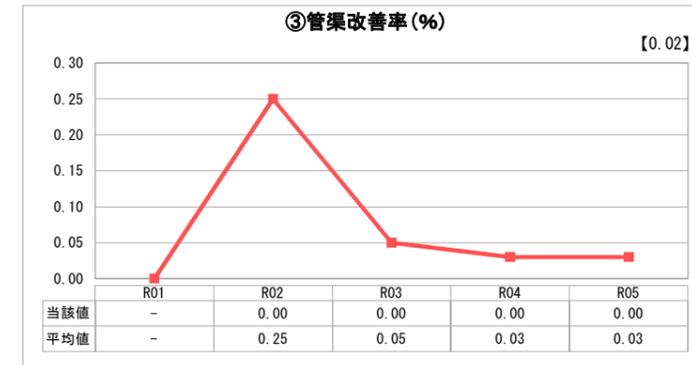
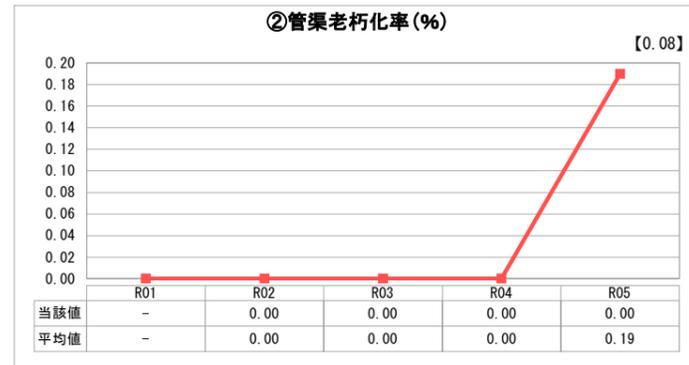
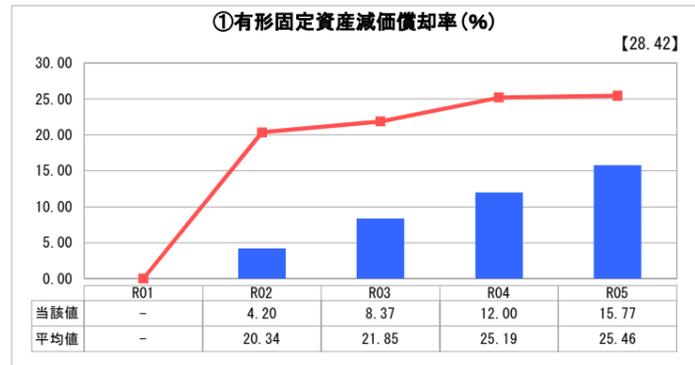
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
61,125	666.03	91.78
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,316	1.10	1,196.36

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①全国・類似団体平均よりも低いが、100%は超えている。ただし、使用料で賄えない資本費に対する繰入金を含んだ数値である。
- ②累積欠損金は生じていない。
- ③令和2年度より、一般会計からの基準外繰入を行い、流動資産が増加したことで、年々改善している。
- ④全国・類似団体平均に比べて非常に高い水準にあり、企業債への依存度が大きい。今後当分の間は投資額の減少に伴い、企業債残高も減少していく見込みである。
- ⑤100%を大きく下回っており、使用料収入では汚水処理費が賄えていない。維持管理費の赤字補てんとしての基準外繰入を行っている。
- ⑥類似団体の平均よりも低い。引き続き、有収水量の増加及び維持管理費の節減に努める。
- ⑦全国・類似団体の平均よりも低い。適切な施設規模へ見直す必要がある。
- ⑧全国・類似団体の平均よりも低い。区域内人口、水洗化人口ともに減少傾向であるため、引き続き未接続世帯への普及促進を図り、水洗化率の向上に努める。

### 2. 老朽化の状況について

- ①全国・類似団体平均と比較して低い水準にあるが、法適用以前の減価償却累計額が貸借対照表に計上されていないために、実際よりも低い数値が反映されていると考えられる。
- ②供用開始から19年であり、現在のところ法定耐用年数を超過した管渠は存在しない。
- ③法定耐用年数を超過した管渠がないため、低い水準となっている。

## 全体総括

当市の農業集落排水事業は、令和2年度から法の全部を適用し、公営企業会計へと移行した。使用料収入では、汚水維持管理費の半分程度しか賄えていない状況であり、赤字補てんとしての基準外繰入を行っている。施設利用率が低い水準にあり処理区域内の人口も減少していることから、今後は効率的な施設利用について検討していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。